

令和7年度

さわやかに歴史と未来の出逢うまち

上郡町の教育

夢をひらく教育
地域の文化を育むまちづくり



上郡町教育委員会



円心くん けいすけ エイトちゃん

1 はじめに

社会の変化が激しく将来が予測困難な現代社会にあって、様々な変化や新たな課題に積極的に向き合い、その課題解決に向け、自ら考え、判断し、表現することができる力や、情報を利活用する力、また、多様な人々と協働しながら課題を解決していく力等を育むことが求められています。

学校教育においては、以前から教育のシンボルフレーズを「夢をひらく教育」とし、子供一人一人の夢の実現をめざす教育を展開しています。本年度からは更に深化させ、「ふるさとを誇りに思い、よりよい自分と社会づくりに励む人」という「めざす15歳像」を新たに設定し、就学前から中学校卒業まで一貫した教育、社会に開かれた教育により、豊かで幸せな人生を切り開いていける力の育成に取り組みます。

また、社会教育においては、「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を創り出し、協力し合える関係づくりの土壌を耕すことにより、潤いと活気に満ちた学習活動・環境づくりを推進します。

どのような時代が来ようとも、この町で暮らす人やこの町で育った全ての人が、自然と歴史に恵まれた上郡町の原風景を基に、周りの人と力を合わせながら、生き生きと自らの夢や在りたい未来の実現をめざし励んでいけるよう、今後も本町の教育の充実に努めてまいります。

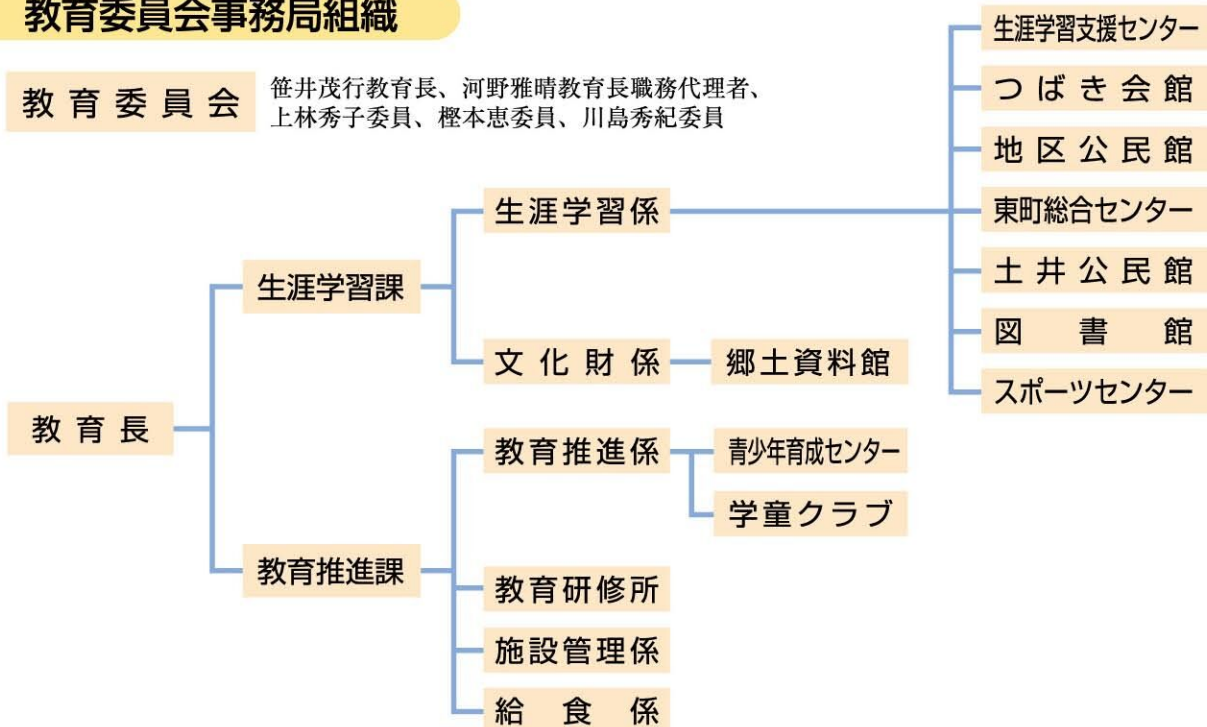
上郡町教育長 笹井 茂行

2 教育行政

教育委員会事務局組織

教育委員会

笹井茂行教育長、河野雅晴教育長職務代理者、上林秀子委員、榎本恵委員、川島秀紀委員



※表紙写真：上郡こども園・高田小学校・上郡中学校

3 就学前・小・中一貫教育 社会に開かれた教育課程

【シンボルフレーズ】夢をひらく教育

【めざす15歳像】ふるさとを誇りに思い、よりよい自分と社会づくりに励む人



こころ安らぐ学校園

集団づくり

自他の人権を尊重し、よりよい人間関係を通して、よりよい集団を築き、他者と協働しながら同じ目標に向けて頑張ることができる

良い学校園風土の形成者

【中学校】人間関係調整力、集団形成力、集団発展力、自治力
 【小学校】善悪を判断する力、他者を思いやる力、自己決定の力、合意形成の力
 【こども園】人と関わる力、身近な環境に親しむ力

仲間づくり

- 多様な他者と共に行う集団活動の量を増やす
- 集団活動を行う際、「一人一人が大事にされるようにする」「役割を与える」「人権感覚を養う」の視点を意識して行う
- 自治的な活動の機会を集団の高まりと共に増やしていく
- 発達支持的な生徒指導の機能を大切にしながら指導する

環境づくり

- 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わわせ、愛着や信頼感が育つような環境を工夫していく

特別活動

- ・話し合い活動の充実
- ・自己決定、集団決定の機会確保
- ・自治的な活動の推進
- ・「みんなでやればできる」体験の積み重ね 等

- ・自己決定、集団決定ができる環境の整備
- ・意図的なグループ作り、集団活動の推進

生徒指導

- ・教職員の人権感覚と同僚性の向上
- ・いじめ、不登校問題に対するチーム学校としての組織的な対応
- ・心の健康観察の活用
- ・Q診断による人間関係の充實(中) 等

生きる力が育つ学校園

保育・授業改善

探究心を持ちながら他者と協働して課題に取り組むことができ、目標や夢に向かって努力する心を磨き続けることができる

自立した学習者

【中学校】探究力、情報活用力、論理的思考力・説明力
 【小学校】学びに向かう力、思考力、表現力、課題設定・解決力、対話力(アウトプット)
 【こども園】言葉を楽しむ力、豊かに表現する力、聞く力(インプット)

探究型指導

- 本時の学習課題やねらいを明確に提示する
- 発表の場を設定する
- 学び合いの場を設定する
- 振り返り活動を充実させる

興味や関心を生かした学びの保育

- 自然に触れ、感動する体験を通して豊かな経験を積み重ね、心身に調和のとれた発達を育成する
- 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えた事を話す力を育む

主体的・対話的で深い学び

- ・学びに向かう力の育成
- ・アウトプットする力の育成
- ・協働的な学びの推進
- ・言語活動の充実
- ・知識、技能の活用 等

ICT機器の活用

- ・個別最適な学習支援
- ・学びやすさの追求
- ・環境を通して行う教育
- ・情報の開示、共有
- ・省力化と高度化 等

- ・遊びに夢中になる中での気づき体験
- ・みんなで相談し、劇り上げる体験

教育力が育つ学校園

コミュニティ・スクール

上郡の原風景をもとにふるさとを誇りに思い、広い視野で地域の未来のことを考えることができる

グローバル人材

【中学校】コミュニケーション力、プレゼンテーション力、企画力、発想力、英語力
 【小学校】調べる力、まとめる力、発信力、比べる力
 【こども園】関わる力、多様なものを受け入れる力

テーマ型コミュニティ・スクール

- 学校と地域が「テーマ」と「めざすこども像」を共有する
- 多様な他者と関わる機会を意図的に設定する
- 「ふるさと未来創造学習」において課題解決型の学習を学校と地域が協働しながら行う
- 社会貢献の意識を育て、実際に活動として実践する
- 課題解決に向けての取組や成果を町内外に発信する

ふるさと未来創造学習

- ・ESDカレンダーの作成による系統的、計画的な活動の実施
- ・「課題設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→振り返り」の活動を通して知識理解を深めると共に情報活用能力を育む
- ・課題の解決に向けて目的意識を持ち、地域の方と協働しながら探究活動に意欲的に取り組もうとする態度の育成
- ・人々とのふれあいを通して、ふるさとのよさを知り、ふるさとの課題について理解を深め、地域の一員としての自覚を高める 等

◎こども園 ④小学校 ③中学校 ②全体

4 就学前教育・保育

●上郡町就学前教育・保育のシンボル・フレーズ

「夢をひらく教育・保育」

—自分も友だちも大好き！ねばり強くがんばる笑顔がすてきな上郡っ子—

《基本課題》

夢を

描く
育てる
ふくらませる

安心と信頼のある認定こども園

生きる力(基礎)を育む認定こども園

育ち合う認定こども園

教育・保育推進の重点

安心・安全な認定こども園での生活を保障し、基本的な生活習慣や人とのかかわり方など、子どもたちの「生きる力」を育む教育・保育を推進します。

(1) 安心と信頼のある認定こども園

- ・個を尊重した教育・保育活動を行い、一人一人と信頼関係を築き、安心感をもって生き生きと活動できる環境づくりに努めます。
- ・あらゆる活動の中で自立心を育み、生活に必要な様々な習慣や態度を養います。
- ・子どもの成長の共有など保護者との連携を深めながら、信頼される園づくりに努めます。

(2) 生きる力(基礎)を育む認定こども園

- ・保護者と連携し、健康な体づくりや食育に取り組み、心身の健全な発育・発達を支援します。
- ・自分の体を大切にする気持ちや積極的に体を動かす楽しさ、心地よさを感じるような計画に沿った教育・保育内容の充実を図ります。
- ・交流活動を通して、思いやりの心や自尊感情、規範意識、道徳性を育みます。

- ・一人一人の発達課題を明らかにし、個々に応じた教育・保育を推進します。
- ・「接続期のカリキュラムの全体構造」をもとに活動を実施し、小学校教育への円滑な接続を推進します。

(3) 育ち合う認定こども園

- ・園の課題を共有し園内外での研修を充実させることにより、指導力や資質及び専門性の向上を図ります。
- ・保育参観や行事等を通して、「保護者と子どもが共に育つ場」を提供します。
- ・「めざす子ども像」を共有し、小学校や地域、関係機関と交流や連携を図ることにより、子育てネットワークづくりを推進します。
- ・町内の認定こども園が連携し、研修、交流等を通して町全体での就学前教育・保育の充実を図ります。



「スナップエンドウの収穫」
上郡こども園

5 学校教育

●上郡町教育のシンボル・フレーズ

「夢をひらく教育」

—めざす15歳像「ふるさとを誇りに思い、よりよい自分と社会づくりに励む人」—

《基本課題》

夢を

育てる
志にかえる
かなえる
つなげる

こころが安らぐ学校

生きる力が育つ学校

教育力が育つ学校

教育推進の重点

あたり前のことをあたり前に行うなかで、特色ある学校づくりを推進します。そして、全ての子どもたちに「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」を身に付けさせ、変化の激しい社会を生きぬくための「生きる力」の育成を図ります。

(1) ところが安らぐ学校

① 安心で安全な環境を保つ

(重大事故・体罰ゼロ)

- 全ての教育活動で人権を尊重し、児童生徒としっかり向き合い、心が通い合う指導をします。
- 保護者・地域と連携し、校内外の安全指導・管理の徹底と防災体制づくりを推進します。
- 働きやすい職場環境づくりを進め、教職員の児童生徒と向き合う時間を確保します。

② 基本的な生活態度を育てる

(忘れものゼロ)

- 家庭と連携し、基本的な生活習慣や学習習慣、礼儀作法の指導を徹底します。
- 上郡町・学校いじめ防止基本方針に基づき、組織的かつ実効的な取組により、いじめの積極的認知と未然防止・早期発見・早期対応・再発防止に努めます。
- 情報教育を推進すると同時に情報モラル教育の充実を図ります。
- 保護者・地域・校種間において重点的な指導事項を共通理解し、早期に対応します。

③ 学校の説明責任を果たす

(不信感ゼロ)

- 保護者への定期的な説明会・通信やホームページなどを活用し、教育目標や計画、評価等を丁寧に説明し、理解・協力を得ながら社会に開かれた学校をめざします。



「学習発表会 モロヘイヤ発表」
上郡小学校

(2) 生きる力が育つ学校

① 学びを鍛える

(こつこつ勉強する姿)

- 学びの機会の充実を図り、基礎・基本を確実に習得させます。また授業の中で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICT機器を適切に活用し、知識・技能を活用する力、学びに向かう力を育成します。
- ALT等の活用により、コミュニケーション能力を育成し、グローバル社会に対応できる英語教育・外国語活動の充実を図ります。
- 個別指導や合理的配慮の観点から踏まえた特別支援教育の充実等により、一人一人の多様な教育的ニーズ

ズに応じた教育を充実させ、主体的かつ協働的に学び合う学習を推進します。

- 学習指導や学級経営の充実と校種間の円滑な接続と連続した学びを推進します。
- 学校に対して日常的な支援を行うICT支援員を配置することにより、ICTを活用した教育活動の一層の充実を図ります。

② ところを鍛える

(にこにこ生活する姿)

- 社会的自立に向けた体系的なキャリア教育を推進し、キャリアプランニング能力を育成します。
- 道徳・人権教育を充実させ、道徳的判断力や規範意識、互いを思いやり自他の人権を尊重する意欲・態度を育成します。
- 集団活動を通じて互いに認め合い、支えながら人間関係調整力や自治能力を育成します。
- 豊かな感性が育つよう、文化・芸術的教育活動や体験活動を充実させます。
- 郷土の偉人や文化財を教材とした学習を推進し、ふるさと意識の醸成を図ります。

③ からだを鍛える

(くるくる活動する姿)

- 清掃活動・当番活動等の指導を徹底し、共に汗し、やり切る体験を通して勤労・奉仕の精神を高めます。
- 休憩時間の屋外遊びや部活動を奨励し、運動の日常化を図ります。
- 家庭と連携し、疾病予防や健康な体、忍耐力づくりを進めます。
- 食育や学校給食を通して、栄養バランスの大切さや地域の食文化への理解、食にかかわる人への感謝の心など、心身の健全な成長を支援し、望ましい食習慣と食に関する実践力を育成します。



「上郡のいいところ調べ」
上郡中学校

(3) 教育力が育つ学校

① 教職員が育つ

(子どもに力を付ける教職員)

- 授業の質を高めるため、学校の創意工夫を生かす学びのスタイルを確立し、学習評価を推進します。

- ・教育の専門家であることを自覚し、授業力や実践的指導力を高めるため研修・研究に努めます。
- ・課題や目標を共有し、支え合い共に向上し、人権感覚と同僚性の高い職場づくりを進めます。



「双眼実体顕微鏡を使った学習」
山野里小学校

②保護者が育つ

(活気あふれる保護者会)

- ・学び育ち合う保護者会として活性化を図るため、懇談会を定例化します。
- ・家庭における生活習慣や学習習慣、しつけ等について課題を共有し、保護者同士の連帯感や意識が高まるPTA活動を推進します。

③地域が育つ

(子どもをよく知る地域)

- ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)等により、学校・家庭・地域が「めざす子ども像・教育のビジョン」を共有し、目標の実現に向けてともに協働していく意識の高揚を図ります。
- ・地区懇談会等を通し、新たな地域ぐるみの子育て体制や地域の安全への連携体制づくりを進めます。
- ・学校支援ボランティア(授業支援・環境整備・安全確保等)を活用した教育活動を推進します。

6 社会教育

教育推進の重点

地域の文化を育むまちづくり

清流千種川と美しい山並みの自然環境に恵まれた風土と先人が築いた歴史と伝統、そして自然と科学が調和する播磨科学公園都市に抱かれた文化の香りが息づくまちづくりを進めてきました。

一人一人が生きる喜びを実感し、地域と共生できる、潤いと活気に満ちたまちづくりのため、人権尊重を基本として、住民個々の自発的、意欲的な参画に立脚した文化の高揚を図ります。また、多様な生き甲斐づくりに向けた生涯学習の場づくりと、まちづくりに必要な社会教育活動の充実、教育活動全体を通じての男女共同参画社会の実現をめざし、行政と住民が一体となった総合的な事業を推進していきます。

生涯学習の推進

豊かで活力ある社会を築くためには、一人一人が、その生涯を通じ、あらゆる機会・場所において学ぶことができ、その成果を適切に生かすことができる社会の実現が図られなければなりません。また、社会の状況から判断される社会的要請を把握することも重要な課題となっています。

そこで、「文化を育むまちづくり」を基本理念として、各種の施策を効果的に推進していくとともに、学校・家庭・地域の連携・協働をもとに生涯学習を推進し、地域の教育力の向上をめざした特色ある事業(地域と学校の連携・協働体制推進事業)を計画していきます。

特に、学齢児童に対する総合的な放課後対策「上郡町放課後プラン事業」として、次の二つの取組を引き続き展開します。「放課後子ども教室」は、地域ボランティアの協力により、小学校を会場とし、子どもたちの安全で健やかな放課後の居場所づくりを推進します。「学童ク

ラブ」は、授業終了後に家庭の保護が受けられない留守家庭児童の健全育成を図ります。

また、学校を地域の拠点として地域全体で支援するため、社会教育の場で学んでこられた地域住民や、多様な知識・経験をもった方々による学校支援活動を展開する「かみごおり学校サポートネット」の充実を図ります。



「学校サポートネット 調理実習」
山野里小学校

生涯学習支援センターは、住民同士の交流や社会教育の中核を担う施設として、年間を通じ町民の立場に立ち、その自主的な学習活動を支援します。

また、町民の多様なニーズに対応するため「wi-fi」環境の整備を行い、インターネットを活用した学習の場を提供するなど、住民へのきめ細かな学習機会の

提供に努めます。

さらに、図書館では館内用のタブレットを借し出すことで、電子図書の利用や近隣市町を含む図書の検索を可能にし、町民の利便性向上に努めます。

読書講演会やおはなし会などを開催して、「読書のまち上郡」を推進し、近隣図書館との連携で利用の促進を図ります。

地区公民館では、常に各地区公民館のネットワークを強化することにより、学習体系の見直しを行い、地域に根ざした公民館活動を展開し、誰もが親しめる公民館をめざします。

そのために、各種サークル活動の支援やボランティアグループを育成をはじめ主催事業の充実などに努め、利用促進を図ります。



「読書講演会 (土井善晴氏講演) 生涯学習支援センター」

人権学習の推進

町民一人一人がいきいきと安心して暮らせる共生社会の実現をめざし、自治会をはじめとする各種団体学習を中心に人権学習・人権啓発を推進します。

学習者同士が対話を通じてさまざまな考え方を共有し結びつきを深める「参加型学習」を推進するとともに、啓発資料や学習教材の充実、整備に努めます。

また、広く人権について気づき、理解を深める場づくりとして、各種講演会、啓発イベントの開催や、家庭での人権啓発を目的としたケーブルテレビを活用した啓発ビデオの放映など、日々の生活の中に人権が「文化」として定着するよう学校・家庭・地域への人権意識の浸透を図ります。



「人権のつどい (人権作文朗読)」

地域文化の振興

文化財は「国民共有の財産」であるとともに、地域の歴史を物語る貴重な文化遺産です。

原始・古代から赤穂郡の中心であった上郡町には、中・近世に至るまで数多くの文化遺産が残されています。国指定史跡の山陽道野磨駅家跡や赤松氏が築いた難攻不落の白旗城跡をはじめ、その内容もバリエーション豊かで充実したものです。さらに国特別天然記念物のコウノトリやオオサンショウウオも生息しています。

これらの歴史文化遺産を保存・活用していくために、埋蔵文化財の発掘調査を実施し、その成果の公開に努めます。また、資料の収集を行い、町内に残る歴史文化遺産の保護を図り、郷土の遺産の普及啓発に

取り組むとともに、天然記念物の保護を図ります。

また、郷土資料館では企画展や特別展を開催するとともに、歴史体験学習や歴史講座を開講し、住民の歴史・文化に対する愛着と文化財保護の意識の醸成に努めます。



「高田地区人工巣塔に営巣したコウノトリ」

青少年健全育成の推進

「地域の子どもは地域で守り育てる」という意識の高揚を図りながら、学校・家庭・地域・警察など関係機関との連携のもと、青少年育成センターを活動拠点として青少年の非行防止と健全育成を総合的に推進します。

補導活動としては、51名の青少年補導委員と連携して青少年の問題行動の早期発見・早期指導に努めます。

また、面接・電話・メールによる教育相談窓口を開設して、子ども達に関するさまざまな悩み相談に迅速に対応します。不登校児童生徒に対しては不登校生徒支援員及び上郡町教育支援センターを中心に、カウンセリングや学習支援など登校のための指導の充実を図ります。

また、各地区の青少年健全育成協議会の活動の活性化を図り、青少年を取り巻く有害環境の把握と改善、登下校時の子ども達の安全確保に取り組みます。

生涯スポーツ等の推進

生涯スポーツ社会の実現を踏まえて策定された、「上郡町スポーツ推進計画」に基づき、レクリエーションスポーツなどを通じて、年齢に関係なく町民の“だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも”気軽にスポーツを楽しめるよう「健康寿命80歳」をスローガンにスポーツの日常化と普及を推進します。

スポーツ環境の充実に向けて、スポーツセンターの施設改修を引き続き実施し、「町民一人1スポーツ」をめざし、安心・安全にスポーツに親しめる機会と快適な環境を提供するとともに、地域でのスポーツ・レクリエーション交流を図ります。

主な事業として、関係機関と連携し、トップアスリートを招聘し世界で活躍する選手による実技指導・交流の場を提供するとともに、町民スポーツ大会やスポーツ教室を開催し、技術の向上を推進します。

指定管理者制度の導入により、民間ならではのノウハウをフルに活用し、各種講習会や教室を開催し、充実したスポーツセンターの管理運営に努めます。

スポーツ協会・青少年スポーツ団体・スポーツクラブ21等への運営・技術向上の支援や顕彰制度を継続していきます。

また、B&G財団とのかかわりを密にし、「心とからだの健康づくり」の推進にも引き続き取り組みます。

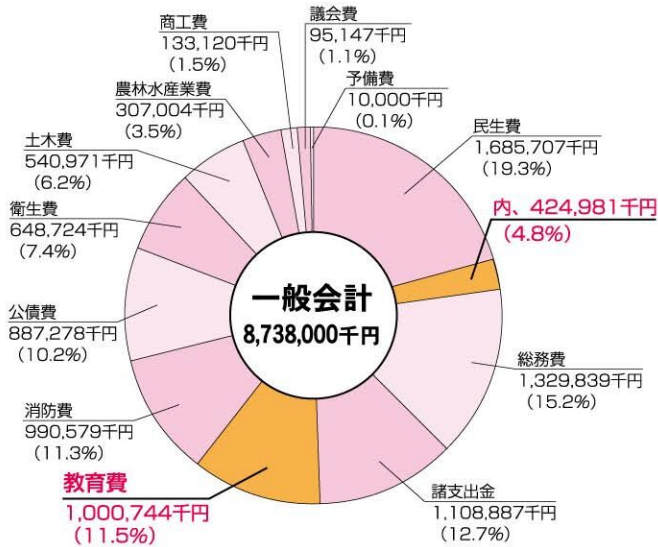


「町民スポーツ大会(ラジオ体操講習会)」

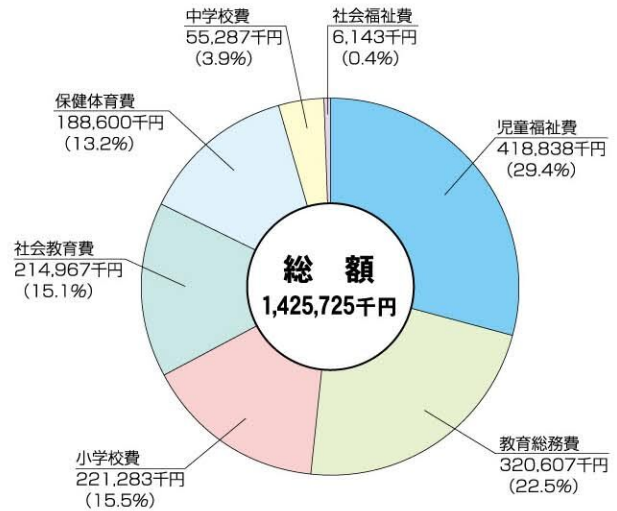
7 教 育 財 政

令和7年度の教育委員会予算

一般会計に占める割合



教育委員会予算の内訳



8 学校園 園児・児童・生徒・教職員数等一覧

小中学校

(令和7年5月1日現在)

番号	学校名	児童・生徒数			学級数 (特別支援)	教職員数	
		男子	女子	合計		県費	町費
1	上郡小学校	56	52	108	6 (2)	18	2
2	山野里小学校	133	104	237	11 (3)	28	2
3	高田小学校	62	55	117	6 (3)	18	2
	小学校合計	251	211	462	23 (8)	64	6
1	上郡中学校	161	127	288	9 (3)	30	2
	小・中合計	412	338	750	32 (11)	94	8

認定こども園

(令和7年5月1日現在)

番号	園名	園児数	学級数	教職員数
1	上郡こども園	82	6	31
2	陽光こども園	82	6	31
3	プレスクール かみごおり	62	6	25
	合計	226	18	87

令和7年度 上郡町の教育

発行年月日 令和7年6月
 編集発行 上郡町教育委員会
 印刷 ユーキコミュニケーションズ

【一部昨年度の写真を掲載しています】